

様式第2号（政務活動実施報告書）

令和4年1月17日

井原市議会議長

大 滝 文 則 様

井原市議会議員 荒木 謙二

下記のとおり政務活動を実施しましたので、報告します。

記

1. 実施期間	令和4年1月12日（水）～令和4年1月13日（木）
2. 研修会等の開催地 または視察、要請・ 陳情活動先	<p>■上富田スポーツセンター 和歌山県西牟婁郡上富田町朝来 3871 番地</p> <p>■阪神園芸 兵庫県西宮市甲子園町1番82号</p>
3. 研修会等の名称 または視察、要請・ 陳情活動内容	スポーツ施設の芝生化に関する視察
4. 研修会等の講師名 または視察、要請・ 陳情活動先の担当者 名	<p>(1) 上富田スポーツセンター 上富田町役場 振興課 課長 平尾好孝 氏 班長 出羽正典 氏 議会事務局 局長 樫山裕子 氏 副局長 小倉一仁 氏 上富田スポーツサロン チーフトレーナー 柳生 歩 氏</p> <p>(2) 阪神甲子園球場 阪神園芸(株) 常務取締役 西田孝廣 氏 甲子園施設部 部長 金沢健児 氏 スポーツ施設部 課長 萬浪広士 氏 ゾイシアンジャパン(株) 熊谷直樹 氏</p>
5. 活動内容	別紙①のとおり

1. 報告書は、政務活動終了後2週間以内に提出すること。

2. 活動内容欄のスペースが足りない場合は、任意の様式により活動内容を取りまとめ、活動内容欄へは、「別添のとおり」と記載すること。

別紙①

■視察の目的

市内スポーツ施設の利用者からは、芝生化の要望をよく聞く。また、芝生のはげた野球場を見て、残念がる市民もいる。一方で、芝生化は、スポーツ振興のみでなく、環境面、景観面、防災面などでも効果が見込まれる。

そこで、実際に芝生化でまちおこしをしている自治体や芝生管理をしている現場を視察し、芝生化のメリット・デメリットを把握するとともに、市内施設の芝生化に対する課題を洗い出す。



■視察内容

1. 上富田スポーツセンター

(1) 現状に至った経緯

平成 7年 上富田スポーツセンター開設  
野球場外野部分天然芝

平成11年 屋内イベント広場開設

平成13年 球技場（天然芝）開設

平成18年 屋内イベント広場人工芝化

平成19年 多目的グラウンドBコート天然芝化

平成22年 クラブハウス建築  
多目的グラウンドAコート夜間照明付人工芝敷設

平成28年 スポーツサロン開設

平成29年 南紀ウエルネスツーリズム協議会設立  
・地域限定旅行業取得（ワンストップ窓口）

平成30年 食育交流センター開設 「TATONJO GARDEN」  
・第2種旅行業取得（一般旅行取扱）

令和 元年 地方創生総合戦略 ～上富田ウエルネスタウン構想～  
～町民や庁内事業所も上富田町に訪れた人もスポーツをする人も  
そうでない人もみんなが心身ともに健康になる～



別紙①

(2) 合宿実績

サッカー：柏レイソル、セレッソ大阪、ヴィッセル神戸、ツエーゲン金沢  
横浜F C、長野パルセイロ、なでしこ JAPAN、U19 日本女子代表  
他 JFL、大学、高校多数

ラグビー：トヨタ自動車、ホンダ、近鉄、NTT、日本代表、日本女子代表  
女子セブンズ代表 他

野 球：阪神タイガースによるウエスタンリーグ公式戦、西濃運輸、大学、  
高校野球部多数



(3) スポーツ施設維持管理状況

1 上富田スポーツセンター

管理体制：作業スタッフ3名、受付スタッフ1名で運営

管理施設：野球場（天然芝）、ピッチング練習場、  
多目的グラウンドA（人工芝）、多目的グラウンドB（天然芝）  
屋内イベント広場（人工芝）、球技場（天然芝）、テニスコート4面

芝生管理：外部委託

収 入：スポーツセンター利用料約 1700万円、管理委託料：2300万円

支 出：人件費：約 14.50万円、芝生管理委託料：約 8.50万円、  
その他経費：170万円

2 上富田スポーツサロン

運営体制：スタッフ7名

運営内容：スポーツジム



収 入：スポーツサロン利用料：約3500万円

支 出：人件費：2500万円、その他経費：4.80万円

別紙①

(4) 取り組みの効果

- ・介護予防対策 運動、一緒に 約5000万円
- ・合宿や大会による地域経済の活性化 約3億円 その他、地域消費、町民税等
- ・Jリーグや代表誘致による知名度の向上 イメージアップ、移住
- ・スポーツ少年団、青少年への影響 交流、気付き、夢
- ・誇りを持てるもの 自慢、地元就職、Uターン

(5) 課題

- ・平日の昼間の利用、運動する人、スポーツ好きな人をいかに増やすか？
- ・いかに、多くの地域の方を巻き込んだ施策ができるか？

(6) 今後の取り組み・将来構想

- ・人間形成のためのチームビルド研修（社員研修）
- ・紀南全体での合宿メニューづくり
- ・スポーツをする人もそうでない人もみんなが集まれる紀南地方のランドマークを目指す。



別紙①

2. 阪神甲子園球場

(1) 阪神園芸について

- 1968年に設立
- 1976年から甲子園球場を整備
- 業種：造園工事、植栽管理・・・売上の90%は造園業
- 自治体への支援実績：姫路市、高砂市、綾部市



阪神甲子園球場外観



内野グラウンド（掘り起こし）



内野グラウンド（転圧）



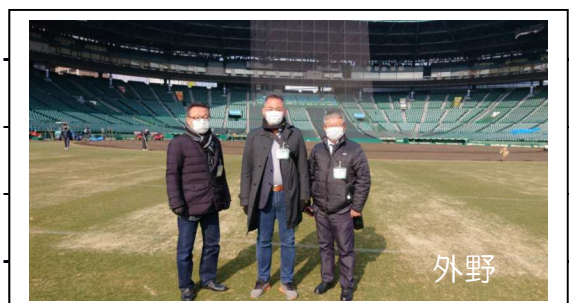
トンボ（個人別）



雨天時のシート



ブルペン



外野

別紙①

■所感

上富田スポーツセンターは、平成3年から造成にかかり平成7年野球場開設以降 toto スポーツ振興助成金等様々な補助金を活用しながら球技場・多目的コート  
の天然芝・人工芝化また、スポーツサロンの開設に尽力されている。

このような一体的な施設は、少人数で継続的に管理ができ、年間を通じて安定した  
状態で受け入れができる利点があり、野球・サッカー・ラグビー等合宿を受け入れる  
ことでプロフェッショナルなチーム・選手の生の声を聴くことができ、施設整備・  
改善の要望等、さらにレベルアップに繋がり利用実績も上がることになる。

また、一流選手と地域の子どもたちが交流することで子供たちの夢が膨らみ、町に  
誇りがもて地域の活性化の一余となっている。取り組みの効果にも示させているが  
介護予防対策・合宿による経済効果・知名度向上によるイメージアップ・青少年への  
影響等で人口増加につながっているのも頷ける。

井原市においての天然芝化は、既存の施設をみると一流チームの合宿に呼べる  
施設は現状では難しいと考える。ラグビー・サッカーは美作市、野球場は倉敷市等  
合宿実績のある市は一段と力を注いでいくと考えられ、天然芝化は、幼稚園園庭から  
進めていくことが肝要であると考えます。

阪神園芸（株）さんは野球の聖地「甲子園球場」を管理されていて、素晴らしい  
球場づくりに努められている。掘り起こし、転圧作業・芝の管理を見させていただ  
いたが、選手が安心してプレーができケガをしない球場づくりとはこのような作業工  
程を見えないところで繰り返し行わないといけないのかと感銘を受けた。

井原球場も見積りをしていただき可能であれば整備をし、学童・少年野球は全国大  
会に出場し、実績も上げているので更に地域の野球活性化に繋がることを期待する  
ところである。